

第1回JTUコンプライアンス委員会（ウェブ開催/会議録）

[1] 実施：2020年7月20日（月）19：31～20：21

[2] 出席

・委員長：中山・常務理事、委員：矢野・指導者養成委員長、トシ中山・オリンピック対策チームリーダー、海野・審判委員

・担当理事：園川・高校生普及委員長、山根・強化チーム、富川・パラリンピック対策チームリーダー

・事務局：児玉スタッフ

[3] コンプライアンス委員会 委員構成方針（調整案）の説明

1) 日々の活動にJTU倫理コンプライアンス規程によるガバナンスが行き届くことをめざす。

2) 選手に直接的な接点が多い委員会（強化、指導、技術審判）から委員を推薦する。

3) コンプライアンスを推進するが、倫理委員会との分担があり、選手・コーチに意識向上を促す委員会を想定する。

4) 理事が委員長である場合は、理事会レベルでコンプライアンスを徹底できるので、この委員に適任であっても選任しない。

5) 最重要のアスリート委員会は、今後、男女2名が理事候補となるので、割愛する。

6) スポーツ庁のガバナンスコードが要求する事項については、倫理委員会、ガバナンスコード策定プロジェクトチームとの連携で基本対応する。

7) 委員の増員は随時調整する。

[4] 会議課題

課題1) 目標と展望

・社会的な暴力やハラスメント行為の防止のために、スポーツ庁他が推進するガバナンスコードにより、コンプライアンス委員会が設置された。

・他には、倫理委員会があり主に相談窓口に寄せられた案件に対応している。

・さらに、ガバナンスチームがあり、JTU顧問弁護士である湯尻弁護士が委員である。

・指導要領によると、コンプライアンス委員会には弁護士を委員に据えることが提唱されている。

以上から、現状では、これら三委員会が連携し、補足しあうものと考えることができる。

課題2) JTU倫理コンプライアンス規程の選手向け説明（簡略まとめ版）

・理事会に提出済であるが、図解版（海野委員作成）と合体して活用する。

課題3) 選手への緊急アンケート実施案

- ・「困って選手の窓口機能」を検討する案が提示された。日常的な相談事も含め、小学生が聞けるようになったらよいとの趣旨である。しかしながら、相談窓口があり、また、対応者の設置など今後への検討課題とする。
- ・山根理事から、WT/ITU が相談窓口（各国語）設置を発表したことが報告された。

課題4) 関連資料の発掘と活用

- ・「漫画でコンプライアンス・B&G 財団発行」が分かりやすく有用であることの報告。児玉主任に使用確認を依頼する。
- ・園川理事から、親子フォーラムなどでの使用案が提案された。

課題5) 各委員・担当理事からの意見等

- ・各位からの現状報告と展望などについて意見交換があった。

[5] 次回会議：2021年3月2日（火）